

科目名	情報処理Ⅱ	英語科目名	Information Processing II
開講年度・学期	平成 21 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 3 年
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位(30 時間単位)
担当教員	前期：山本, 川上, 高橋, 尾立 後期：大島	居室（もしくは所属）	建築学科棟
電話		E-mail	
授業の達成目標			
1. 表計算ソフトを利用して簡単な統計処理ができる。 2. 表計算ソフトの Visual Basic for Applications(略して VBA)を利用できる。 3. 2次元の建築図面を CAD で作成できる。 4. 作品や研究レポート発表等に向けた作業としてコンピュータで処理ができる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1,2. 提出ノートやレポートおよび定期試験により評価する。 3,4. 提出ノートや演習作業の CAD 図面等を、完成度と正確度による設定水準で評価する。 (作品内容や研究レポート発表内容等に関する評価はしない(情報を処理する方法の講義に重点をおくため)。)			
評価方法			
1,2. 前期は、試験の成績(30%)、受講態度(10%)、レポート(60%)で評価する。 3,4. 後期は、CAD 演習図面等の提出(50%)、演習前後の講義ノート提出(20%)、定期試験結果(30%)で評価する。 ・前後期の成績を平均して学年末の成績とする。 ・未提出の課題・レポートがある場合は、原則として成績を不可とする場合がある。			
授業内容			
【前期】			
1. 計算式の入力と結果・・・1 週 2. 表示形式（セルの絶対参照他）・・・1 週 3. 関数の演習（合計）・・・1 週 4. 関数の演習（最大値等）・・・1 週 5. 金利の計算・・・1 週 6. 統計処理の総合演習・・・2 週			
<中間試験>			
7. ウィンドウ（スクロール、シート）・・・2 週 8. 図形の作成・・・1 週 9. グラフの作成・・・3 週 10. インターネットから得たデータ処理…2 週			
【後期】			
01(1 週)全体ガイダンス&PC・データの活用について(教室)----→ノート提出			
02(1 週)CAD の基本 1(教室)			
03(1 週)CAD の基本 2(情報センター)----→ノート提出			
04(1 週)CAD 平面図演習(情報センター)			
05(1 週)CAD 平面図演習(情報センター)			
06(1 週)CAD 平面敷地図演習(情報センター)----→CAD 図提出			
07(1 週)CAD 断面図演習(情報センター)			
08<中間試験>			
09(1 週)CAD 断面図演習(情報センター)-----→CAD 図提出			
10(1 週)CAD 立面図演習(情報センター)-----→CAD 図提出			
11(1 週)CAD 総合演習(情報センター)			
12(1 週)プレゼンテーション画像処理テクニック(教室)----→ノート提出			
13(1 週)プレゼンテーションテクニック(情報センター)-----→プレゼン CAD 図提出			
14(1 週)CAD 図面利用テクニック(教室)----→ノート提出			
期末試験			
15(1 週)CAD 図面利用テクニック(情報センター)-----→プレゼン CAD 図の PPT 提出			
キーワード	表計算ソフト、統計分析、データ処理、CAD		
教科書	----		
参考書	後期:実務最優先 Jw_cad for Windows 徹底活用術, 日本建築情報センター、エクснаレッジ		
小山高専の教育方針①~⑥との対応	⑤		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	----		
JABEE 基準 1 の (1) との関係	----		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	情報処理 I		
現学年の関連科目	建築設計 IB		
次年度以降の関連科目	応用数学、建築設計 IIA, IIB、卒業研究		
連絡事項	1. リポート作成や卒業研究・設計等でのコンピュータの利用頻度が高いので、目的意識をしっかりとって授業にあたること。 2. 建築 CAD は基本事項と応用を短期間で学ぶことになるが、もっと身につける必要があると感じた学生は積極的に自己学習を進める。 3. コンピュータ利用が社会的にも必須であり、それを自分なりの活用ができるようになって欲しい。		
シラバス作成年月日	平成 21 年 3 月 12 日		